

令和7年度 第2回大府市協働推進委員会 会議録

開催日時 : 令和7年6月14日(土) 午後1時から午後1時21分まで
開催場所 : 大府市民活動センター「コラビア」会議室
出席者 : 深谷委員長、鈴木副委員長、成田委員、加藤委員、櫻井委員、
宮田委員、亀山委員、山口委員
事務局(部長、係長、主事)の計11名
欠席者 : 昇協働推進助言者、協働推進課長
傍聴者 : なし

(司会・進行: 協働推進生涯学習係長)

1 あいさつ(委員長)

本日は、協働推進助言者である昇先生が欠席のため、公開審査会の最後にある講評を聞くことができず残念である。

協働推進委員会後に公開審査会が開催されるが、委員の皆様にはそれぞれが思った通りに採点をしていただきたい。様々な生活環境で過ごしている私たち委員の意思は、結果的に市民の意思を反映したものとなる。団体に対しては、積極的なご意見や感想を伝えていただきたい。

2 議題

(1) 「大府市協働のまちづくり推進のための指針Ⅳ」令和6年度実績及び令和7年度計画について

事務局から、「大府市協働のまちづくり推進のための指針Ⅳ」令和6年度実績及び令和7年度計画について、資料No.1に基づいて説明

- ・「大府市協働のまちづくり推進のための指針Ⅳ」策定の趣旨
- ・施策の体系と各施策の令和6年度実績及び令和7年度計画

【質疑応答】

委員 : 昨年度からの変更点はあるか。

事務局 : 評価指標に変わりはなく、令和6年度の実績を報告させていただいた。

委員 : 令和5年度と令和6年度の実績に壁があるように感じるものがある。子ども会の会員数など一気に減少しているようであるが、新型コロナウイルス感染症以外の原因は何か考えられるか。

事務局 : 新型コロナウイルス感染症以外にも、社会全体の傾向が複合的に重なって会員数が減少していると考えられる。

事務局 : 会員数が半数を下回ると加速度的に減少する傾向がある。現在、単位子ども会自体がなくなっている地域もある。そのため、子ども会に入りたいが入れないということももいる。

委員 : 加入率50%というのが1つの境であるということか。

事務局 : 50%を下回ると加速度的に減少すると考えている。

委員 : 自治会加入率も約50%となっている。

事務局 : 働いている親が多く、役員を担うにあたって負担を感じている人が多いようである。

(2) 第2次審査の審査基準の確認について

事務局から、第2次審査の審査基準の確認について、資料No.2に基づいて説明

- ・協働企画提案事業交付金の交付金額の計算式及びNPO法人立ち上がり支援事業補助金の金額
- ・協働企画提案事業の審査基準（公益性、連携・協働性、継続性、実現性、先駆性、応援ポイントの6項目）
- ・NPO法人立ち上がり支援事業の審査基準（公益性、実現性、継続性の3項目）
- ・第2次審査会の流れ及び審査結果の通知、公表

【質疑応答】

委員：おおぶプレーパークが辞退した理由は何か。

事務局：公開審査会や実績報告などが負担となってしまったようである。

委員：本日は審査員で意見交換の時間もあるので、感想を言いやすくなる。

3 その他

●事務局から

- ・今回の審議会の謝礼は、後日お振込みさせていただく。
- ・令和7年度第3回大府市協働推進委員会は、令和7年10月15日（水）の午後2時から大府市役所2階 201・202会議室にて開催する予定

—以上—